

## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 清和中央ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7531 URL <http://www.seiwa-chuo-holdings.co.jp>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 阪上 正章  
問合せ先責任者（役職名） 専務取締役管理本部長（氏名） 阪上 恵昭（TEL）06-6581-2141  
半期報告書提出予定日 2024年8月9日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

## 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	27,885	△13.8	63	△64.2	135	△48.1	33	△79.9
2023年12月期中間期	32,334	21.2	177	△68.0	260	△58.6	166	△57.7

（注）包括利益 2024年12月期中間期 △6百万円（-％） 2023年12月期中間期 △0百万円（-％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	8.52	—
2023年12月期中間期	42.26	—

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	38,649	15,942	40.7
2023年12月期	39,752	16,008	39.7

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 15,713百万円 2023年12月期 15,774百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,000	△5.7	320	93.2	430	43.0	290	180.7	73.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、(添付資料)P. 8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期中間期	3,945,100株	2023年12月期	3,945,100株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	9,409株	2023年12月期	8,309株
③ 期中平均株式数(中間期)	2024年12月期中間期	3,936,191株	2023年12月期中間期	3,937,448株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、円安に伴うインバウンド需要が下支えしているものの、物価上昇の影響もあって個人消費は思うように回復せず、また持ち直しの動きがみられる企業活動においても、自動車業界で起きた不正問題の影響から関連する製造業は停滞が発生するなど、景気改善に足踏みがみられました。一方、世界経済では中国における不動産市場の停滞や欧米の金融引締めに伴う影響、さらに長期化するウクライナ危機問題や中東地域をめぐる情勢など、国内景気の下押しリスクが散見される状況が続きました。

鉄鋼業界におきましては、需要面として回復しない自動車の生産や輸出が落ち込む建設機械・産業機械に加え、ここまで堅調であった大型建築でも資材価格の高騰や人手不足の影響により、一転して低調な状況となりました。一方、鉄鋼価格は人件費や運送費、電気代などのコスト増もあって、鉄鋼メーカーが値上げを実行しましたが、当社グループが属する鉄鋼流通業界では、前述の低調な鉄鋼需要の影響を受け価格転嫁は一向に進まず、販売価格は軟調に推移いたしました。

このような経営環境下において当社グループは、仕入面においては在庫の適正化に注力し、販売面においては適切な販売量の確保と販売価格の設定に重点を置き、きめ細かい営業活動を展開してまいりましたが、需要減少に伴う販売数量の減少と東日本地区における鉄骨加工の完工減が影響し、当中間連結会計期間の売上高は278億85百万円（前年同期比13.8%減）となりました。また利益面は販売数量の減少と在庫商品の販売スプレッドが縮小したことにより、営業利益は63百万円（前年同期比64.2%減）、経常利益は1億35百万円（前年同期比48.1%減）、法人税等を差引いた親会社株主に帰属する中間純利益は33百万円（前年同期比79.9%減）と低水準な結果となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ11億2百万円減少し、386億49百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が5億49百万円、前渡金が5億84百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ10億36百万円減少し、227億7百万円となりました。この主な要因は、電子記録債務が3億44百万円、短期借入金が5億円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、純資産は、前連結会計年度末に比べ65百万円減少し、159億42百万円となりました。この主な要因は、その他有価証券評価差額金が35百万円、利益剰余金が25百万円それぞれ減少したことによるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、98百万円増加し、12億80百万円（前年同期末11億66百万円）となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、6億78百万円（前年同期は13億65百万円獲得）となりました。これは主に、棚卸資産の増加額4億26百万円があったものの、売上債権の減少額5億7百万円、前渡金の減少額5億84百万円があったことによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、14百万円（前年同期は1億28百万円使用）となりました。これは主に、利息及び配当金の受取額30百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出50百万円があったことによるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、5億65百万円（前年同期は12億22百万円使用）となりました。これは主に、短期借入金の純減少額5億円と配当金の支払額62百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の連結業績につきましては、2024年2月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,186,386	1,281,755
受取手形及び売掛金	9,780,799	9,231,426
電子記録債権	6,839,180	6,881,141
商品	5,592,534	6,018,886
前渡金	4,693,673	4,108,957
その他	800,050	478,535
貸倒引当金	△69,533	△62,583
流動資産合計	28,823,090	27,938,119
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,673,475	1,626,042
土地	5,130,237	5,130,237
その他(純額)	721,513	709,530
有形固定資産合計	7,525,227	7,465,810
無形固定資産	810,779	738,835
投資その他の資産		
繰延税金資産	3,552	3,843
その他	2,595,951	2,509,534
貸倒引当金	△6,173	△6,173
投資その他の資産合計	2,593,330	2,507,204
固定資産合計	10,929,337	10,711,850
資産合計	39,752,427	38,649,969

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,564,407	9,519,769
電子記録債務	7,035,671	6,691,031
有償支給取引に係る負債	555,997	493,851
短期借入金	1,350,000	850,000
未払法人税等	33,025	116,880
前受金	2,554,256	2,727,677
賞与引当金	24,200	47,386
役員賞与引当金	25,000	14,500
その他	806,313	448,751
流動負債合計	21,948,872	20,909,849
固定負債		
繰延税金負債	1,074,917	1,062,817
役員退職慰労引当金	295,450	297,410
退職給付に係る負債	221,979	233,983
その他	203,048	203,464
固定負債合計	1,795,394	1,797,675
負債合計	23,744,267	22,707,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	767,562	767,562
資本剰余金	633,602	633,602
利益剰余金	13,456,619	13,431,089
自己株式	△26,112	△26,112
株主資本合計	14,831,672	14,806,142
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	943,225	907,754
その他の包括利益累計額合計	943,225	907,754
非支配株主持分	233,262	228,549
純資産合計	16,008,160	15,942,445
負債純資産合計	39,752,427	38,649,969

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	32,334,845	27,885,576
売上原価	29,774,133	25,480,396
売上総利益	2,560,711	2,405,180
販売費及び一般管理費	2,382,788	2,341,403
営業利益	177,923	63,777
営業外収益		
受取利息	983	1,783
受取配当金	43,195	28,752
仕入割引	22,782	21,197
助成金収入	—	6,800
その他	20,862	15,761
営業外収益合計	87,823	74,294
営業外費用		
支払利息	4,479	2,828
その他	1,007	190
営業外費用合計	5,487	3,019
経常利益	260,259	135,051
特別損失		
固定資産売却損	—	308
固定資産除却損	4,485	630
特別損失合計	4,485	938
税金等調整前中間純利益	255,774	134,112
法人税等	91,870	105,305
中間純利益	163,904	28,807
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△2,489	△4,713
親会社株主に帰属する中間純利益	166,393	33,521

## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	163,904	28,807
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△164,110	△35,471
その他の包括利益合計	△164,110	△35,471
中間包括利益	△205	△6,663
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,644	△1,949
非支配株主に係る中間包括利益	△1,850	△4,713



## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	255,774	134,112
減価償却費	144,340	218,682
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7,207	△6,949
受取利息及び受取配当金	△44,179	△30,535
売上債権の増減額 (△は増加)	1,771,586	507,411
支払利息	4,479	2,828
棚卸資産の増減額 (△は増加)	202,601	△426,352
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,659,996	△389,278
前渡金の増減額 (△は増加)	1,236,175	584,715
前受金の増減額 (△は減少)	△396,288	173,421
未収入金の増減額 (△は増加)	452,666	340,380
未収消費税等の増減額 (△は増加)	441,140	△49,661
未払消費税等の増減額 (△は減少)	245,039	△403,097
有償支給取引に係る負債の増減額 (△は減少)	△115,166	△62,145
その他	△100,019	62,795
小計	1,430,946	656,328
法人税等の支払額	△161,739	△27,175
法人税等の還付額	96,140	48,923
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,365,346	678,076
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△52,516	△50,592
有形固定資産の売却による収入	—	21,450
無形固定資産の取得による支出	△124,203	△19,137
貸付金の回収による収入	4,271	4,170
利息及び配当金の受取額	44,139	30,253
その他	193	△411
投資活動によるキャッシュ・フロー	△128,114	△14,265
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,100,000	△500,000
利息の支払額	△4,236	△2,878
配当金の支払額	△117,733	△62,312
非支配株主への配当金の支払額	△696	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,222,666	△565,190
現金及び現金同等物に係る換算差額	38	64
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	14,604	98,684
現金及び現金同等物の期首残高	1,151,840	1,182,174
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,166,444	1,280,859

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書計上額 (注) 2
	西日本	東日本	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,727,365	17,595,414	12,065	32,334,845	—	32,334,845
セグメント間の内部売上高 又は振替高	340	14,802	505,941	521,083	△521,083	—
計	14,727,705	17,610,216	518,007	32,855,929	△521,083	32,334,845
セグメント利益又は損失(△)	272,635	△97,557	303,289	478,368	△218,108	260,259

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△218,108千円は、セグメント間の取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## II 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書計上額 (注) 2
	西日本	東日本	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,424,288	13,448,875	12,412	27,885,576	—	27,885,576
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,464	4,986	500,125	506,575	△506,575	—
計	14,425,752	13,453,861	512,537	28,392,152	△506,575	27,885,576
セグメント利益又は損失(△)	227,473	△122,526	231,053	336,001	△200,949	135,051

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△200,949千円は、セグメント間の取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。